

MR I 用造影剤使用の説明および同意書

* 造影検査をされる方は、検査前の 3 時間は、食事を抜いて下さい。

1. MRI 造影剤とは

MRI 造影剤を注射することによって、より小さな病変が見つかり、病変の性状がより詳しくわかります。使用する造影剤は、ガドリニウム造影剤と呼ばれるものが代表的です。これは安全性の高い薬ですが、他の薬剤と同様に副作用を完全に回避する事はできません。

2. 造影剤の副作用

軽い副作用

- ✓ かゆみ、発赤、吐気、嘔吐、くしゃみ、頭痛等。基本的に治療は不必要です。頻度は約 0.4%以下 (1,000 人につき約 4 人程度)
- ✓ 造影剤漏れ：造影剤は、多くの場合は時間とともに吸収されますが、漏れた量が多い場合に、追加処置が必要となる場合があります。

重い副作用

- ✓ けいれん、意識消失、血圧低下、呼吸困難など。原則的に緊急の治療が必要です。頻度は約 0.0005~0.0002% (20 万~45 万人に 1 人程度)。

4. 造影剤を基本的に使えない方

- ✓ これまでに MRI 造影剤を用いてアレルギー症状が出た方
- ✓ 気管支喘息の既往がある方 (小児期のみの喘息を除く)
- ✓ 重篤な腎疾患、肝疾患のある方

私は上記の内容を理解し、造影剤使用MRI検査実施に同意します。

記入年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

検査を受けられるご本人様の氏名

_____ (代筆者 _____)